

令和2年度 第80回全日ウエイトリフティング選手権大会  
第34回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

《 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル 》

2020.10.09

### 大会開催の判断について

- ① 開催地及び主管者より「中止要請」があった場合は、主催者(JWA)と協議し可否を判断する。
- ② 全国的に感染が拡大し、都道府県を跨ぐ移動が制限される状態になった場合、主催者(JWA)と主管者が協議し可否を判断する。

### 事前周知

- ① 参加者は、特別な状況下にあることを理解し、申込みにおいて特別ルールや運営が通常と異なることを承諾したものと参加する。
- ② 健康観察票を記入し持参する。体調不良者は入場をお断りすることもある。
- ③ 場内では、三つの密を避け、マスク等を着用し感染防止に努める。
- ④ 関係者以外は入場規制する。(無観客試合)
- ⑤ 選手は自分の試合時間に合わせ会場入りする。
- ⑥ 会場に持ち込んだ物は各自がゴミ袋等を用意し持ち帰りする。
- ⑦ 大会期間中は外出を避け、健康管理に留意する。
- ⑧ 参加者は、PCR・抗原・抗体検査等の要請があった場合はこれに従う。
- ⑨ 追加項目及び変更については通知する。

### 諸会議 (ソーシャルディスタンス・マスク着用・手指消毒の徹底)

- ① 参加者は事前に登録し、受付で確認後、健康観察(検温等)をしてから入場する。(参加者名簿は保管し、万が一感染者が出た場合に備える)
- ② 審判打ち合わせは短時間で計画し、席の間隔を十分とり実施する。
- ③ 監督会議は実施しない。(資料は受付時に配布する)
- ④ 感染拡大防止対策について、周知徹底する。

### 受付

- ① 選手及び役員・補助員と報道(メディア)の入口を分ける。
- ② 係員は、マスク・手袋等を着用する。
- ③ 関係者(選手、監督、セコンド、競技役員、競技補助員、報道)以外の入場を制限する。一般観客の入場は規制し無観客試合とする。
- ④ PCR検査結果(陰性であること)と健康観察票を提出させ、健康状態及び連絡先を確認する。
- ⑤ 検温を実施し、発熱が軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないよう呼びかける。(37.5℃以上の者は入場を制限する)
- ⑥ 入口で全員手指消毒を行いマスク着用で入場する(入場後は原則マスク着用をする)。

### 選手控え室

- ① 当日の選手及び付添1名のみ指定された間隔で利用し長時間の利用は控える。それ以外の者は、休憩や食事場所として利用しない。
- ② 常に換気を行い、選手同士の会話は控える。
- ③ 利用後は使用した箇所の消毒を行い、ゴミは全て持ち帰る。

### 検量

- ① 試技票は事前に配布し、必要事項を記入して持参する。監督サインも記入し、検量時は目視で体重を確認し係がチェックを入れる。(特別ルール)
- ② 検量待ちの選手の間隔を適切に保てるよう表示をもうけ、これに従う。
- ③ 係員は最少人数で対応する。
- ④ 選手ごとに計量器の消毒を行う。
- ⑤ 室内の換気を常に行う。

### アップ場

- ① セコンドは1選手2名までとし、1名増すごとに1名追加とする。(特別ルール)
- ② 選手以外はマスクを着用する。
- ③ 椅子は選手数のみとする。

- ④ アップ場所のリング移動は極力避け、なるべく同じシャフトを利用する。
- ⑤ 大きな声で指示を出さない。
- ⑥ 炭マグは、小分けにして各選手に配布する。(特別ルール) 使用後は回収箱に廃棄する。
- ⑦ シャフトごとに消毒シートを用意し、常に消毒できるようにしておく。
- ⑧ 飲料水等の配布は行わない。
- ⑨ 持ち込んだものは全て持ち帰る。
- ⑩ 混雑を避けるため、入退場を必要に応じて行いアップ場での休憩は控える。(三密を避ける)

### 招集所

- ① 椅子は適切な距離を保ち配置、移動しない。
- ② 試技票記入用の筆記用具は持参する。(予備は用意する)
- ③ 大きな声で指示を出さない。声援は控える。
- ④ 炭マグ容器は設置せず、各自配布されたものを使用する。(特別ルール)
- ⑤ 飲み物容器やテーピング等、使用したものは各自持ち帰る。(事前にゴミ袋の用意)

### 試合場

- ① 選手のマスクの使用を認める。(特別ルール)
- ② 器具係は、指定した席に配置し、マスク・手袋を着用する。(特別ルール)
- ③ 試技ごとにシャフトを消毒シートで拭く。
- ④ レフリーは、マスク等を着用する。
- ⑤ ジュリーは、席の間隔を広く設定し、マスク等を着用する。
- ⑥ グループ終了ごとに、審判席、使用機器の消毒を行う。
- ⑦ 審判席への飲み物の提供は行わない。

### 会場

- ① 換気を常に行うため、窓やドアの開閉を工夫する。(特別ルール)
- ② ゴミは各自で持ち帰る。
- ③ カメラ席は、試技を行っている選手の撮影時のみ利用し、他の選手の時は席を空ける。カメラや三脚の常設は禁止する。
- ④ インタビューコーナーを設営する場合は、選手との距離を 2m 以上離す。報道関係者はマスクを着用する。

### 式典

- ① 開会式及び閉会式は実施しない。
- ② 表彰式については検討する。
- ③ 階級ごとの表彰はトータル 3 位までとし、表彰台の間隔を広く設定する。
- ④ 授与者・介添えはフェイスシールドを着用する。
- ⑤ 入賞者のマスク等の着用は任意とする。

### 役員・補助員

- ① 場内では、マスク（フェイスシールド等含む）を必ず着用する。
- ② 物品の受け渡しを伴う係は手袋を着用する。
- ③ 大きな声は出さず、広い場所での指示は場内放送及び拡声器等を使用する。
- ④ 会場入りする際は選手役員入口を利用し、健康観察票を提出し検温して係の指示に従う。2 日目以降は、受付名簿で確認し、検温してから係の指示に従う。
- ⑤ 互いに適切な距離を保ち、三つの密を避ける。
- ⑥ 通常の大会とは異なる状況であること理解し、参加者の模範となる行動を心がける。
- ⑦ 健康管理に留意する。
- ⑧ 会場内を巡回し、感染防止対策が実施されているか点検し指導する。(係員、巡回場所・時間を決めて対応する)

### 報道・メディア対応

- ① 競技関係者と入り口を分ける。
- ② 受付で健康観察票の提出と検温等をしてから入場する。
- ③ 競技関係者と接触を避けるため指定した場所への移動、撮影場所の指示を行う
- ④ 選手へのインタビュー形態は別途案内をする。

## 主催者の準備

- ① 感染防止のため実行すべき事項を予め整理し、チェック化したものを適切な場所に掲示する。
- ② 実施事項のチェックリストを作成し、遵守されているか場内を定期的に巡回し確認する。
- ③ 万が一感染が発生した場合に備え、入場者の健康観察票を回収し名簿を作成・保管する。
- ④ 大会終了後に参加者から新型コロナウイルス感染症の発症が報告された場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対策方針について、開催地の自治体と予め検討しておく。
- ⑤ 参加者に対し、感染防止対策について要項等で事前通知する。
- ⑥ 「大会開催における感染拡大防止策」として以下の準備を行う。  
(追加項目等については適宜追加資料として周知する)

### (ア) 手洗い場所

- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ・「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くため使い捨てのペーパータオルを用意するが、参加者にマイタオルの持参を求める。〔共有のタオルや手指を乾燥させる設備については設置（利用）しない〕
- ・手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

### (イ) 更衣室、休憩・待機スペース

- ・広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する措置を講じる。
- ・室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒する
- ・換気扇がある場所では常に使用、換気用の小窓をあける等の換気に配慮する。
- ・スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする。

### (ウ) 洗面所

- ・トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう注意喚起する。
- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ・「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（参加者にマイタオルの持参を求める。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする）

### (エ) 飲食物の提供

- ・飲食物の提供は行わない。
- ・参加者が個人的に飲食する場合は、手にする前に、手洗い・手指消毒を行うよう指示する。

### (オ) 役員・観客席の管理

- ・無観客とするため観客用の席は用意しない。
- ・密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ席の数を減らすなどの対応をとる。 -
- ・声援を送らないことや大きな声の会話を控える。

### (カ) 競技会場

- ・換気の悪い密閉空間とならないよう、競技に影響のないドアや窓を開放し十分な換気を行う。
- ・換気設備を適切に運転する。
- ・定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う。

### (キ) ゴミの廃棄

- ・鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り持ち帰りを原則とする。場内清掃にあたる人は、マスクや手袋を着用する。
- ・マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する。